

刊行物 Information

1. 日本常民文化研究所

神奈川大学日本常民文化研究所論集 39

歴史と民俗 39

平凡社（2023年3月8日発行）

特集 渋沢敬三と日本の近代

【解題】特集「渋沢敬三と日本の近代」（丸山泰明）

日本常民文化研究所 100 周年に寄せる言葉（渋沢雅英）

アチック学派の「知脈」形成と「常民文化」概念の誕生

——人類学史的観点から（全京秀／訳 神野知恵）

渋沢敬三と祖父栄一——実業家・渋沢栄一後嗣の進路選択に関する一考察（永井美穂）

渋沢敬三のヨーロッパと南島への旅——他者へのまなざし、自己への内省（丸山泰明）

渋沢敬三と銀行調査部——「二足の草鞋」が拓く社会的実践の可能性（辻本侑生）

渋沢敬三の公職追放解除後の社会活動と文化外交——アメリカ統治下沖縄の事例で考える（後田多敦）

蝸牛と民具——民俗分布論をめぐる柳田国男と渋沢敬三そして内田武志（安室知）

渋沢敬三における「学問」と「実業」（佐藤健二）



常民文化研究 第1巻 2022（2023年3月30日発行）

明治 43-44（1910-1911）年の『東京朝日新聞』連載記事「時代の家屋」に見られる住宅間取り図について——わが国戦前期の中流住宅勃興期における住宅に関する一考察——（内田青蔵）

米騒動と体験者の語り——旧富山県中新川郡東水橋町を対象として——（大川啓）

『会津農書』にみる粮菜作と粮菜貯

——在地農法の一環としての「食物助成」——（佐々木長生）

海に生きる人びとと海の生き物——能登国鳳至郡名舟村の江戸時代から——（泉雅博）

聖（ひじり）と平安京周辺の山々（繁田信一）

患者にとってのお守り——医療従事者への聞き取りから——（鈴木英恵）

【資料紹介】吉田三郎『我田引水』 解題 吉田三郎・幻の農民文学（今井雅之）



民具マンスリー

55巻 1号（2022年4月10日発行）

備前市吉永町田倉牛神社の信仰と備前焼の牛（平松典晃）

二つの中世陵王面——鎌倉鶴岡八幡宮と六浦瀬戸神社——下（渡邊浩貴）

55巻 2号（2022年5月10日発行）

鬼門地蔵を考える——半田市亀崎地区の事例から——（近石哲）



【民具短信】

奈良県大和郡山の金魚養殖道具（新海拓郎）

帝塚山大学附属博物館所蔵の女駕籠について（清水智子）

アチック・ミュージアムの民具コレクション④⑩ 樋畑雪湖の妻楊枝コレクション（七）（木村裕樹）

55 卷 3 号（2022 年 6 月 10 日発行）

石打ち習俗の終焉——久万高原町上直瀬周辺の聞き取りをもとに——（遠部慎）

【民具短信】

セキレイ（鶴鴒）の民俗とそれにまつわる物質文化（森俊）

近世末の流通経路がわかる膳箱——紀州黒江村から相州浦賀湊・厚木村を経て寺尾村へ——
（小川久治）

アチック・ミュージアムの民具コレクション④⑪ 佐藤三次郎による収集民具（加藤幸治）

55 卷 4 号（2022 年 7 月 10 日発行）

戦後日本におけるカロート式家墓の普及とその多様化——霊園・石材事業者の資料をもとに——
（問芝志保）

松本市立博物館収蔵資料紹介——河原操子関連資料——（武井成実）

55 卷 5 号（2022 年 8 月 10 日発行）

初午の旗飴——分布と原型——（佐々木天）

子供の誕生にともなう絵馬奉納習俗——奈良県における分布と特徴——（下）（浅井裕登）

アチック・ミュージアムの民具コレクション④⑫ 喜界島のウムエー（小島摩文）

【施設紹介】ただみ・モノとくらしのミュージアム（久野俊彦）

55 卷 6 号（2022 年 9 月 10 日発行）

小学校学習指導要領改訂にともなう展示と民俗資料の活用

——名古屋市博物館企画展「なごやのうつりかわり」を事例として——（長谷川洋一）

地域博物館における海外由来の資料の活用例——行田市郷土博物館所蔵「木彫りの靴」をめぐる——
（岡本夏実）

【民具短信】 デジタルファブリケーションと民具（道用大介）

55 卷 7 号（2022 年 10 月 10 日発行）

てるてる坊主の現在地（高橋健一）

賀美蚕種製造組合とラベルに関する覚書——埼玉県『賀美蚕種製造組合之章』について——上
（林道義）

【書籍紹介】『聖性の物質性——人類学と美術史の交わる場所』（余瑋）

55 卷 8 号（2022 年 11 月 10 日発行）

民具は生きている——屋久島での民具との出逢いと歩み——（黒飛淳・荒木真歩）

近代琵琶湖の堅釜 後編（渡部圭一）

55 卷 9 号（2022 年 12 月 10 日発行）

【民具マンスリー編集室 研究発表会】

自治体における二次資料の保管と活用について——民俗資料を中心に——（鈴木通大）

賀美蚕種製造組合とラベルに関する覚書——埼玉県『賀美蚕種製造組合之章』について——下
（林道義）

55 巻 10 号 (2023 年 1 月 10 日発行)

石を利用する民家 (津山正幹)
三原だるまの内貼り新聞からみる製作年代 (三好周平)

55 巻 11 号 (2023 年 2 月 10 日発行)

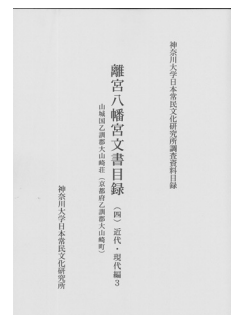
ハンセン病療養所の自助具、義肢、補装具をめぐって (西浦直子)
義足という民具について (木下直之)
【書籍紹介】『消えゆくくらしのモノ事典』(西連寺匠)

55 巻 12 号 (2023 年 3 月 10 日発行)

民具としての公共彫刻——「竹の塚彫刻の道」の事例から—— (中山咲)
山の衣生活——滋賀県湖東の一軒の資料から—— (横田尚美)
【民具短信】
神奈川大学「ふいご祭り」(丹羽英二)
横浜市歴史博物館「動画を見て調べよう！昔の道具とくらし」公開にあたって (羽毛田智幸)
第 55 巻総目次
日本常民文化研究所 2022 年度活動報告より

神奈川大学日本常民文化研究所 調査資料目録
離宮八幡宮文書目録 (四) 近代・現代編 3
(2023 年 3 月 31 日発行)

1995 年度第 3 期京都府大山崎地域の調査・研究において文書目録および報告書を刊行している。本書は、既刊『離宮八幡宮文書目録 (三) 近代・現代編 2』(2022 年 3 月刊)に続き刊行され、大山崎地域 4 家 10 冊の最終の目録本となる。また、1978 年度第 1 期から第 3 期までのおよそ 40 年にも及ぶ各時期における調査の経緯、研究成果についても掲載している。

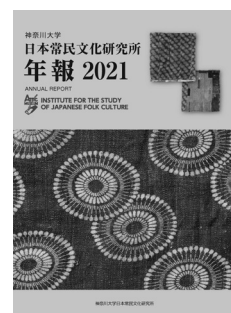


神奈川大学日本常民文化研究所 年報 2021
(2023 年 2 月 9 日発行)

第 I 部 研究活動報告

日本常民文化研究所

- A. 基幹共同研究「常民生活誌に関する総合的研究」
“日常茶飯”——日本人は何を食べてきたか—— (周星)
布の製作と利用に関する総合的研究 (昆政明)
便所の歴史・民俗に関する総合的研究 (須崎文代)
- B. 基盤共同研究
ポルト南蛮屏風の総合的研究による新領域の開拓 (関口博巨)
日本常民文化研究所所蔵資料からみるフィールド・サイエンスの史的展開 (泉水英計)
海域・海村の景観史に関する総合的研究 (安室知)
- C. 個別共同研究
歴史民俗資料とデジタルファブリケーションの可能性の研究 (関口博巨)
受託研究 三宅村郷土資料公開・保存事業 (越智信也)
民具マンスリー (角南聡一郎)
資料委員会 (関口博巨)



共同展覧会「布 うつくしき日本の手仕事」(昆政明)
神奈川大学デジタルアーカイブ(後田多敦・越智信也)
日本常民文化研究所 公式 Web サイト・SNS・YouTube(平井誠)
国際会議 The International Conference on the Inclusive Museum in Portugal(須崎文代)
第8回東アジア島嶼海洋文化フォーラム——島と海の変化と混沌——(加藤里織)

第Ⅱ部 成果発信

第25回常民文化研究講座

日本常民文化研究所の100年
洪沢敬三と日本の近代——越境し総合する知の100年(丸山泰明)
古文書修復実習(関口博巨)
民具を語る(角南聡一郎)

国際常民文化研究機構 共同研究フォーラム

共同研究(一般)台湾の「海女(ハイルー)」に関する民族誌的研究(藤川美代子)
——東アジア・環太平洋地域の海女研究構築を目指して——
共同研究(奨励)ブラジル国サンパウロ州レジストロ植民地における
民具からみた日本移民の生活史の研究(福澤一興)

国際常民文化研究機構 第1期・第2期(2009~2022年度)終了報告(安室知)

KU ポートスクエア 神奈川大学みなとみらいエクステンションセンター

神奈川大学日本常民文化研究所主催講座

日本常民文化研究所による古文書講読講座

Japanese Folk Textile 日本の布 東北地方を中心に

神奈川大学日本常民文化研究所研究会

第Ⅲ部 活動記録

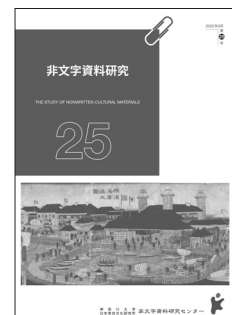
刊行物 Information 2021年度の活動 刊行物等の寄贈・交換 組織 規則・規程

2. 非文字資料研究センター

「非文字資料研究」25

(2022年9月30日発行)

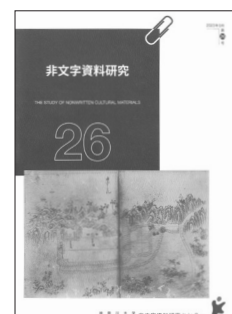
田山暦の分類と比較——絵暦から読み解く生業と信仰——(太田原潤)
中国の租界地と使館界における演劇活動——晚清民初を中心に——(吉川良和)
地域住民の視点からみた青海省チベット牧畜地区における
伝統的な生態意識と環境破壊の原因
——生態移民政策の現状に焦点を当てて——(彭毛夏措 加羊)
こどものためのあかりミュージアム「あんどん皿と花鳥風月」(廣瀬由子)
江戸末期~明治期華僑関連絵画集成稿(中林広一)



「非文字資料研究」26

(2023年3月20日発行)

首里城大龍柱の本来の向きと「寸法記」イラストの検討(後田多敦)
——相対説はなぜ根拠イラストを誤読したのか——
海外神祇の在地化?——以小笠原省三在中国の活動を中心——(謝任)
三越呉服店による第2回広告画図案懸賞の実施とその影響(田島奈都子)
フォーク・ロア、フォーク・カルチャー、フォーク・ライフ:



中国における民俗学教科書の「物質文化」の捉え方（余瑋）
 こどものためのあかりミュージアム
 「おしごとのあかり：あかりで知るむかしのおしごと」（廣瀬由子）
 現代演劇インタビュー・武石守正氏（SPAC 俳優）——身体と関係性——（松本和也）

2021 年度奨励研究成果論文

除雪に関する民俗知識の継承——消雪池と克雪住宅の変遷から——（有馬絵美子）
 クモを闘わせる遊びの伝播と変遷について（小林兆太）
 ——東京跨周辺地域における“ネコハエトリクモ合戦”の事例から——
 近代ドイツにおける形態論争とその建築思想に関する研究（竹本真）
 ——1920 年代のドイツでみられる屋根論争について——
 シャマニズム的呪術治療と信仰の力——シャマニズム的「薬」の民俗を中心に——（張高娃）

「非文字資料研究センター」 News Letter No. 48

（2022 年 9 月 30 日発行）

2021 年度 非文字資料研究センター 第 1 回公開研究会

「日本近世生活絵引」の世界：琉球人行列と江戸編（渡辺美季）
 研究調査報告

国策紙芝居調査——四国（香川、高知）地区（原田広）
 首里城復元で大龍柱の向きは相対と暫定決定（後田多敦）
 ——国の「検討委員会」報告会の報告——

国策紙芝居調査——関西（京都、大阪）地区（原田広）
 研究エッセイ

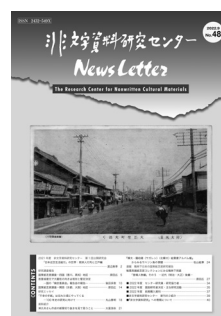
「不幸の手紙」は忘れた頃にやってくる——100 年史の研究に向けて（丸山泰明）

資料紹介

津久井さん作成の新聞切り抜きを見て思うこと（大里浩秋）
 『樺太・薩哈噠〈サガレン〉（北樺太）絵葉書アルバム帳』からみるサハリン島の景観（松山絃章）

連載 戦時下日本の国策紙芝居研究報告

戦意高揚紙芝居コレクションにみる戦時下用語
 「登場人物編」その 5 ——近代（明治・大正）後編——（原田広）



「非文字資料研究センター」 News Letter No. 49

（2023 年 3 月 20 日発行）

研究会報告

租界・居留地班 第 77 回研究会

韓国の港町釜山と建築の風景（富井正憲）
 横浜運河班 第 1 回まち歩き「横浜の運河めぐり」（金丸壽男）
 「近現代日本の宿〈ヤド〉の体系化に関する研究」第 1 回研究会
 「宿」研究の可能性（川島秀一）

租界・居留地班 第 78 回研究会

中国各地の租界と日本の神社景観（稲宮康人）
 「帝国日本」境界の祭祀再編と海外神社班 2022 年度研究会
 「表象としての鳥居——ブラジルを事例に——」
 「『樺太・薩哈噠〈サガレン〉（北樺太）絵葉書アルバム帳』から日本近代期のサハリン島を探る」
 （日座久美子）



「帝国日本」境界の祭祀再編と海外神社班 2022 年度第 2 回研究会
「アジア太平洋戦争下、東南アジアに建てられた海外神社
——旧蘭領東印度（現インドネシア共和国）を中心に——」（加藤里織）
研究調査報告
「戦時下日本の国策紙芝居研究」班 熊本資料調査報告（鈴木一史）
研究エッセイ
「クラクフ工房」調査から考えたデザインの価値（角山朋子）
資料紹介
私家版・関東震災復興誌——神奈川県農工銀行と堀井謄写版堂（北原糸子）
連載 戦時下日本の国策紙芝居研究報告
戦意高揚紙芝居コレクションにみる戦時下用語
「登場人物編」その 6 ——近世（江戸時代）前編——（原田広）
実施報告 非文字資料研究センターの活動を紹介するパネル展示（中村裕史）

国策紙芝居地域調査報告
「非文字資料研究センター」 News Letter No. 49 別冊
(2023 年 3 月 20 日発行)

- はじめに——News-Letter 別冊版のねらい（大串潤児）
- I. 紙芝居と戦時文化論の方法
——東北・2022 初夏（大串潤児）
 - II. 舞鶴市立舞鶴こども園を訪ねて（新垣夢乃）
 - III. 田原市博物館を訪ねて（新垣夢乃）
 - IV. 国策紙芝居班各務原調査
——役場吏員の活動にみる戦時下各務原地域の紙芝居活動（松本和樹）
 - V. 東海調査で「問われた」もの
——瑞浪地域調査概要報告をかねて（大串潤児）
 - VI. 人形劇の図書館、滋賀県平和祈念館を訪ねて（新垣夢乃）
 - VII. 仏教と紙芝居（原田広）
 - VIII. 地域調査の総括と展望
——方法を求めて：2022 年・初夏から盛夏へ（大串潤児）
- あとがき（安田常雄）

